

道徳科学習指導案

主題名「つくればいいでしょ」〔学指要領：A 個性の伸長〕

令和6年11月28日（木） 第5校時 4年〇組教室

授業の視点

自分の長所を考えたり、友達から長所を送ってもらったりしたことは、自分の長所を見付け、どうのばせばよいか考えるために有効であったか。

I 主題設定の理由

1 価値観

小学校学習指導要領の特別の教科道徳、内容項目「A主として自分自身に関すること」の「個性の伸長」において、第3学年及び第4学年では「自分の特徴に気付き、長所を伸ばすこと」をねらいとしている。この段階における自分の特徴に気付くということは、自分の長所だけでなく短所についても気付くことであり、特徴を多面的に捉えることである。その上で、自分の特徴である長所の部分を更に伸ばしていきながら、自分の個性に気付くようにすることが求められる。そのためには、児童が視野を広げ、他の人々の多様な個性や生き方に触れ、憧れや希望を抱ける多様な場面や機会を生かしていけるようにする。そのような中で自分の特徴に気付くようにしたり、長所を伸ばしていこうと考えられるようにしたりする。今後、この内容項目は、第5学年及び第6学年において「自分の特徴を知って、短所を改め長所を伸ばすこと」に発展する。

2 児童観

削除

3 教材観 教材名「つくればいいでしょ」（出典：小学道徳 生きる力 日本文教出版）

「わたし」は4年生になって自分の長所と短所について考えていた。短所はいろいろと見付かったが、長所がまったく見付からなかった。お母さんに相談すると「つくればいいでしょ」と言われる。友達の長所はたくさん見付かるが、自分には何もないと悩んでいると、愛子さんから駅伝大会の練習に誘われる。最初は戸惑いが多い「わたし」だが、愛子さんの熱心な誘いで一緒に練習を始めることになった。その練習も気付けば3ヶ月以上も続いた。始めた頃は苦しい思いもたくさんしたが、だんだんとタイムが伸び、走ることが気持ちよくなってきた。その経験から「わたし」は陸上の長距離について自信が出てきて、自分の長所を見付けることができた。最後「わたし」はお母さんが最初に言った「つくればいいでしょ」の言葉の意味が分かってきたように思っていた。

本教材は、長所は努力によって見付けたり伸ばしたりできること、短所を克服することも長所を伸ばすことにつながることに気付かせ、自分のよさを伸ばそうとする態度を養うことに適した教材である。2枚の挿絵を対比させることで3ヶ月の間に「わたし」が見付けた長所について考えさせ、ロイロノートで送られてきた友達からの長所ノートにおいて、友達が見付けた長所から自分の長所を考えることを含めて、自分の長所を伸ばしていこうとする気持ちを高めていく。

4 人権教育との関わり

本校の人権教育目標は、「人間尊重の精神や協力、助け合いを実践する態度を養う」「自ら学習し、自ら考え行動する児童を育成する」である。自分とは異なる意見や考え方を尊重することについて考える活動を通して、お互いのよさを認め合い、助け合う態度を育てていく。また第4学年の人権教育目標は、「自分や友だちのよさを認め、相手の気持ちを大切に協力し合える子」である。本主題では事前の活動で友達のよさを見付け、本時では自分のよさを見付けることを通して、お互いのよさを認めながら相手の気持ちを大切に、協力できる学級をつくっていく。

II 本時の学習

- ねらい 「わたし」が見付けた長所について考えたり、友達が見付けてくれた長所から自分の長所について考えたりする活動を通して、長所はみんなが持っているものであり、伸ばせるものであることに気づき、自分を伸ばそうとする態度を育てる。
- 人権教育の視点 ○実践力：自分や友達のよさを認め合い、さらに伸ばそうとする。

3 展 開

【★ICT 活用に関する事項】

主な学習活動 主な発問（◎中心発問 ◇補助発問） 予想される児童の意識〔S〕	○指導上の留意点
1 本時で扱う道徳的価値について、問題意識をもつ。（5分） ＜めあて＞ 自分の長所を見付け、どう伸ばしていくか考えよう。 S：長所や短所を思いつくことができた。その長所を伸ばしていくということは考えたことがなかった。どう伸ばしていくか考えたい。 S：長所を伸ばすってどうしたらいいのだろう。	○長所を伸ばすということに着目させるため、短所や長所についての事前のアンケートを提示し、めあてを考えさせる。【★提示】 ○アンケート結果での自分の特徴をわかっていることを踏まえて、長所を伸ばすためにどうしたらいいのかとめあてにつなげる。 ○長所を伸ばすことに着目させ、性格の長所と努力で生み出された長所の違いについて展開後半で気付かせるため、アンケートで出された長所を提示する。【★提示】
2 教科書の教材文の範読を聞く。（5分） 3 教材を通して、道徳的価値についての考えをもち、交流する。（15分）【★共有】 ○「アンケートの3人と同じように自分の長所が見つかからないわたしがお母さんに『つくればいいでしょ』と言われて、どう思ったでしょうか。」（発言） S：そんなこと言われても思いつかない。 S：作ればいいなんて簡単に言わないでほしい。 S：本当に、「わたし」もアンケートの3人も長所がないのかな。 ◎「最後、お母さんの『つくればいいでしょ』と言ったことがわかってきたと書いてあったが、なにがわかったのでしょうか。」（ノート） S：長所は自分で作れる。 S：努力したり続けたりしていることが長所になる。 S：自分が気付いていないだけで長所は最初からあったのではないかな。	○「わたし」の気持ちを考えられるようにするために、「長所が見つからなくて悩んでいる」ことを挙げ、問いかけ、気持ちを捉えさせる。 ○最初の「つくればいいでしょ」と、最後の「つくればいいでしょ」の捉え方の違いを強調するために場面絵を板書に提示する。 ○より身近に考えられるようにアンケートで長所がないと答えた3人には本当に長所がないのか考えさせる。 ○最初に「つくればいいでしょ」と言われたときの気持ちと比較し、「わたし」のわかったことをノートに記入させ、自分の考えを持たせる。 ○友達との違いや共通点を見付け、発表に入る前に個人で考えた後に近くの人と考えを伝え合う。
4 道徳的価値に対する多様な意見を知り、学習のめあてについてもう一度考える。（15分） ○自分の長所や友達に見つけてもらった長所をどのようにのばしていけそうかな。（ロイロノート） S：友達によく勉強を教えているということを長所として書いてもらった。もっとわかりやすく友達に	○長所が見つからない子はどうしたらいいかと質問し、事前にロイロノートで友達へ送った「友達の長所」を送り、長所についてもう一度自分事として考えさせる。 ○めあてを自分事として捉えられるよう、感想を伝え合い、その長所を伸ばすためになにができるかを考えさせる。

説明できるように、より勉強をしたり、教え方の工夫をしたりして、より長所を伸ばしていきたい。	○考えが行き詰ってしまった児童には、近くの人と相談タイムを設け、長所を伸ばす方法を一緒に考えさせる。 ○友達が見付けてくれた長所や自分の思う長所から、どう伸ばしていくか具体的に考えることができるように、意図的に指名する。【一覧表示】
5 本時で扱った道徳的価値に対する思いや願い、考えの振り返りをする。(5分)	○最後の振り返りとして、意図的に指名する。
<振り返り> S: 今までは、長所が見つかったも、それを伸ばそうとまでは考えていなかったが、今回友達に見つけてもらった長所をもっと自分の長所と言えるように伸ばしていきたい。	

◆評価の視点

ノートやロイロノート、発言から、「長所を見つけのばせることについて、多面的・多角的に考えている」姿を見取る。

ノートやロイロノート、発言から、「長所を見つけのばせることについて、自分自身との関わりの中で考えている」姿を見取る。

